

第266回 コミュニケーション・プラザ

日 時：令和7年5月15日（木）13:30～17:00

場 所：主婦会館プラザエフ 4F（オンライン併用）

司 会：国土交通省住宅局住宅総合整備課長 浦口恭直

「空き家はどこに向かうのか？」

「空き家問題」。今や、メディアでも見ない日がないほど、我が国の大きな課題となっています。令和6年4月に公表された政府統計では、我が国の空き家は900万戸。依然として増え続けており、今や住宅ストックの7戸に1戸が空き家という計算です。

空き家への対応は、「仕舞う(除却)」か「活かす(活用)」のいずれかです。国では、令和5年に空家法を改正し、住宅の一生としての「終末期対策」である除却が中心であった同法に、「予防的対策」である活用を盛り込みました。

空き家の活用は、除却と異なり、「何に活かすか」の方向性が重要であり、それがビジネスにおいて付加価値を生み出す大きな鍵となります。

不動産業界では、空家法改正に報酬規程改正も相まって、にわかに「空き家活用はビジネスチャンスでは？」と注目が集まっています。一方で、建築業界はどうでしょう？ リフォームなどのストックビジネスは一定進んでいますが、空き家の問題を我が事として捉えているでしょうか？

そこで、今回のコミュニケーション・プラザでは、建築業界が空き家の問題をビジネスチャンスと認識する契機としていただくべく、空き家の「向かう方向」に関するヒントや、空き家活用の最前線の事例などを紹介し、建築業界の空き家問題への取組に係る将来の姿を考えていきたいと思います。

1.	理事長挨拶	13:30～13:35
2.	司会挨拶	
3.	「空き家問題とは何か？」 国土交通省住宅局住宅総合整備課住環境整備室長 石井秀明 氏	13:35～13:55 (20分)
4.	「官民連携による空き家活用のすすめ」 株式会社LIFULL 地方創生統括部空き家対策事業グループ グループ長 北辻巧多郎 氏	13:55～14:35 (40分)
5.	「空き家から民泊・農泊施設への転換による地方物件収益化のチャンス」 株式会社百戦錬磨 代表取締役社長・一般社団法人日本ファームステイ協会 代表理事・ 一般社団法人住宅宿泊協会 代表理事 上山康博 氏	14:35～15:15 (40分)
	～ 休憩 ～	15:15～15:30
6.	「『古い空き家だから活用は無理』などの先入観から脱却！ 考え方や工夫次第！」 株式会社エンジョイワークス 取締役 松島孝夫 氏	15:30～16:10 (40分)
7.	「空き家を掘り起こせ！ ～流通のカギを握るマッチングツアーと建設会社の可能性～」 NPO 法人ふるさと福井サポートセンター 理事長 北山大志郎 氏	16:10～16:50 (40分)
8.	質疑応答（終了後、懇親会）	16:50～17:00

第 266 回 コミュニケーション・プラザ（2025/5/15）出席票

☐ 対面ご出席 ☐ Zoom ご出席

（ご出席の形式に✓印をお付けください）

*** 団体の委員として参加される場合は所属団体と委員名を必ずご明記ください**

会社名：

部 署：

電話番号：

役 職：

氏 名：

Zoom 招待先メールアドレス ◆Zoom 出席の方のみご記入ください

※開催前日に招待 URL をお送りします

注）2 名以上のご参加の場合、下記にご記入下さい。

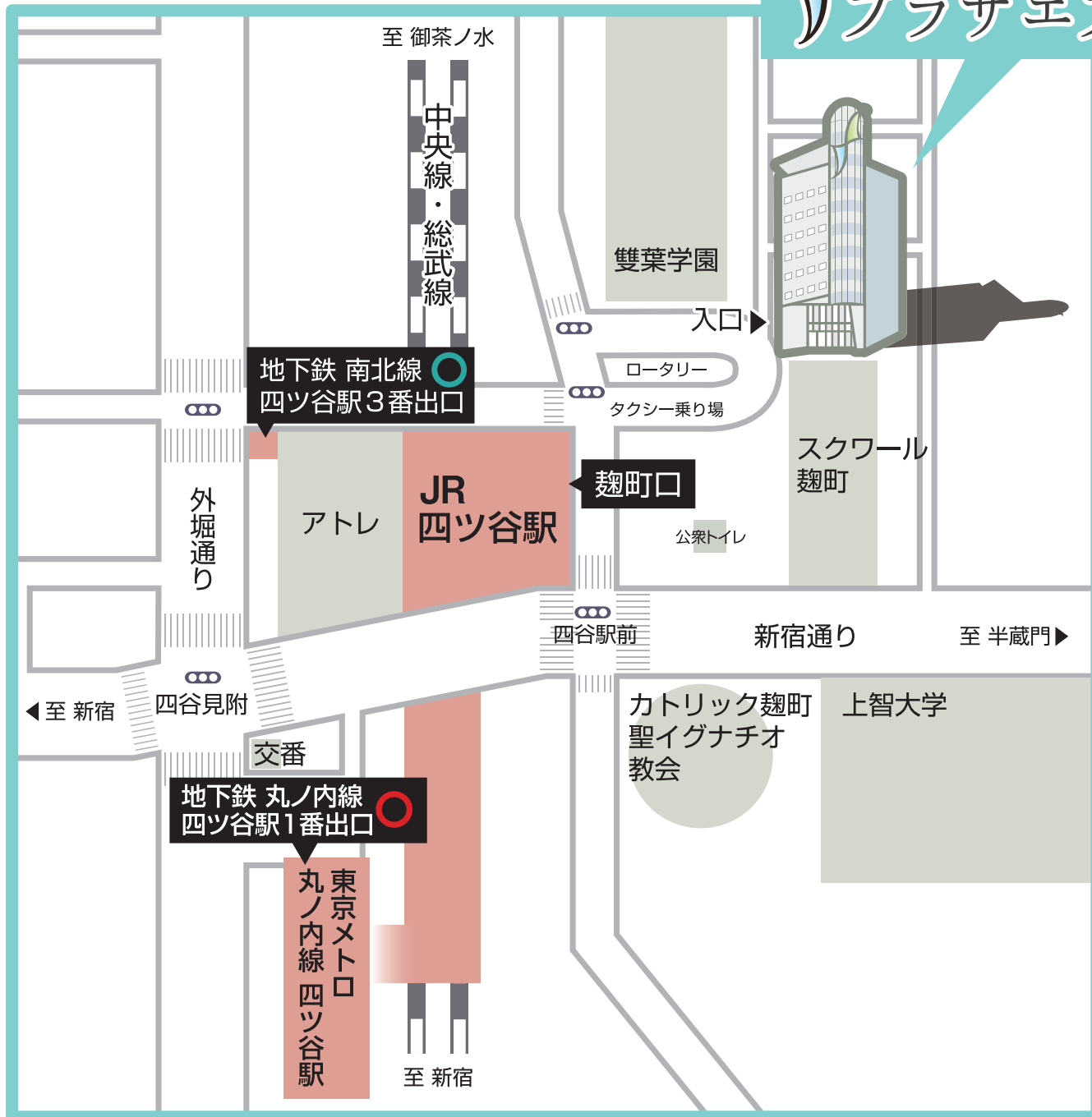
ご所属の部署・役職・ご氏名をご記入ください （団体の委員としてご参加の方は、所属団体名と委員会 名・会社名・部署・役職・氏名をご記入ください）	※対面出席の方は「対面」、Zoom 出席の方 は「メールアドレス」をご記入ください

提出期限：2025 年 5 月 8 日(木)

提出方法：会員専用ページまたはメール（cp@jaho.or.jp）

アクセスマップ

プラザエフ



■ JR四ツ谷駅 麹町口から徒歩1分

■ 東京メトロ ●南北線四ツ谷駅 3番出口から徒歩3分

○丸ノ内線四ツ谷駅 1番出口から徒歩3分

一般財団法人 主婦会館 プラザエフ

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15

代表電話 03-3265-8111

受付時間 平日 9:30 ~ 18:00 土日祝 9:30 ~ 17:00